

「ソーラーパークしまだ」が完成

◎企画調整課 ☎36・71120

伊太田代地区に「ソーラーパークしまだ」が完成し、1月21日に竣工式が行われました。

このメガソーラー施設は、再生可能エネルギーの活用と地域活性化、そして環境政策の推進を図る目的で、民間事業者により建設されました。約35ヘクタールの市有地に8568枚の太陽電池パネルを設置し、今後20年間発電します。発電出力は15メガワット、年間発電量は約234万キロワット時間で、一般家庭約600世帯の年間消費電力量に相当します。

伊太地区内では、ソーラーパークしまだと「伊太小水力発電」「田代環境



伊太田代地区に広がる「ソーラーパークしまだ」

プラザ・バイオオマス発電」を合わせて最大44メガワットを発電。同地区は、全国的にみても「再生可能エネルギー」の先進地となりました。

島田市をPRするタクシーが台湾に登場

◎観光課 ☎36・7163

島田市、川根本町、富士・富士宮市の3団体が協同で、観光資源をデザインした「ラッピングタクシー」を台湾・台北市で走らせました。

台湾からの誘客促進を図るため、219台のタクシー側面に3地域のPR広告をプリント。島田市は、お茶・SL・桜を图案化しました。世界文化遺産に登録された富士山の「空の玄関口」と「麓」の魅力をもとった車両は、12月20日から1カ月間、台北市の中心

街を走りました。

台湾からの旅行者が静岡県内全体を移動することから、今回は隣接しない自治体が広域プロモーションを実施。台北市内ではタクシーも開催され、同市民の注目を集めました。



73台のタクシーが島田市をPR

市の「花・木・鳥」の制定に向けて委員会が発足

◎秘書課 ☎36・7117

第1回島田市花・木・鳥制定委員会が1月16日、市役所で開催されました。

この委員会は、平成17年5月5日に島田市が誕生してから初めての開催。「花・木・鳥の制定は、市のイメージの発信、市民の郷土愛の高揚、市民の一体感の醸成につながる」との方針から設置されました。

委員は、さまざまな分野の代表や、

公募枠から選ばれた10人。この日、委員長には鈴木善彦氏（金谷猪土居）が、副委員長には菅功氏（伊太）が就任しました。

今後は、制定に向けて市民の皆さんのご意見を伺いながら、委員会を行っていきます。



染谷市長からの委嘱状交付

県広報コンクールの最優秀賞を3年連続受賞

◎広報課 ☎36・7118

県と県広報協会は、1月21日に「平成25年度静岡県広報コンクール」の審査結果を発表し、「広報しまだ」が2部門で受賞しました。

このコンクールは、県内の市町や団体が昨年中に発行した広報紙・掲載写真、公開した広報映像などを対象とし、表現力や企画力、デザイン性などが審査されます。

審査の結果、広報しまだ11月号が広報紙（市）部門で最優秀賞、8月号表紙が広報写真（一枚写真）部門で奨励賞を受賞しました。

3年連続で最優秀賞を受賞した広報しまだ11月号は、日本広報協会主催の「平成26年全国広報コンクール」に推薦されます。

今後も、市民の皆さんに親しまれ愛される広報紙づくりに励んでいきます。取材に伺った際は、ご協力をお願いします。



広報紙(市)部門/広報しまだ11月号